

名張市総合福祉センターふれあいの管理運営業務に係る収支状況(平成23年度)

(単位:円)

区分	項目	計画額	決算額	内訳等
収 入	利用料金収入	4,314,000	4,433,220	ホール等利用料金 3,748,620 駐車場利用料金 327,150 コピー機利用料金 357,450
	賃借料収入	1,169,000	1,052,130	他法人水道光熱 992,884 他法人清掃 59,246
	市指定管理料収入	40,500,000	40,500,000	
	負担金収入	0	126,000	自動販売機電気代
	雑収入	0	1,574	駐車場バスカード再発行料金 1,574
	受取利息収入	0	6,928	預金利息
	収入合計(A)	45,983,000	46,119,852	
支 出	人件費	10,356,000	8,533,791	職員俸給・賃金 5,536,334 法定福利費 992,846 職員手当 1,464,611 退職預金積立金 540,000
	事務費	2,104,000	2,800,094	福利厚生費 21,320 器具什器費 0 消耗品費 68,485 損害保険料(賠償) 8,510 印刷製本費 20,475 租税公課 2,425,423 燃料費 28,968 渉外費 5,145 通信運搬費 213,848 手数料(コミ処分) 7,920
	事業費	1,899,000	2,333,515	消耗品費 860,082 広報費 100,000 器具什器費 89,145 水道検査手数料 2,000 (舞台用手すり付きステップ他) 損害保険料(美化) 12,450 車両費(1台) 75,850 賃借料 1,104,313 通信(NHK・ケーブルネット) 89,675
	管理費	31,624,000	30,824,013	水道光熱費 13,381,932 (下水道接続増) 業務委託費 16,581,843 修繕費 860,238
	固定資産取得支出	0	116,550	ノートパソコン1台
	修繕積立金	0	1,000,000	
	支出合計(B)	45,983,000	45,607,963	
収支 (A)-(B)	0	511,889		

平成23年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 健康福祉政策室

※市民の方に概要がわかるよう、必要に応じて、枠を広げて記載してください(A4 サイズ・2 ページ程度まで)。

1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市総合福祉センターふれあい
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 名張市丸之内 79 番地
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	平成 23 年度会議室等利用実績/件数・人数等 1,793 件 (うち有料 1,338 件) 41,210 人 (7,695 時間)
(4) 市支出額	指定管理料 40,500,000 円
(5) 管理運営の状況	①管理施設の使用許可及び利用料金徴収に関する業務 ②管理施設及び設備の点検及び維持管理に関する業務 ③管理施設の電気料等公益費の徴収及び支払いに関する業務 ④管理施設の安全対策に関する業務 ⑤災害時の避難場所提供及び災害対策への協力 ⑥その他の必要な業務

2 事業計画の達成状況

計画区分	達成状況
平等利用の確保及びサービスの向上	利用者からの要望に答え、ホールの舞台脇の手摺付舞台補助階段が片側だけだったので、1 台追加購入し、安全性を高めた。登録団体による環境美化作業 (平成 22 年度に続き 2 回目) を実施し、多数の参加を得られた。窓口では、明るく丁寧な対応に努めるとともに、誰が対応しても同じ返答ができるよう、担当課で情報の共有を図った。 引き続き、年度更新により登録団体 (減免) の確認を行った。
施設の効用の最大限の発揮(利用促進、利用者増など)	ホール、会議室の利用について、主催者の計画や希望をよく聞き取り、トラブルなく満足した利用が出来るように心がけた。 自主事業としては、高齢者を対象とした「みんなで一緒に唄いませんか」(月 1 回開催) や、「おもちゃ図書館」(週 4 回開館 障害児、就学前児童とその保護者) で子育て中の親子の交流の場を提供した。 また、高齢者の利用が多いことから、顧問弁護士、名張警察署生活安全課と市消費生活センターに相談し、各部屋にポスター等を掲示、窓口でチラシ・ティッシュを配布し声かけを行った。
施設の適切な維持管理及び経費縮減	経年劣化による機器の故障や施設の汚損が多くなってきたため、危険度や重要度を考慮し、優先順位をつけて、順次補修等を行った。「老朽設備等不具合状況報告書」を提出し、施設の管理・改修について提案した。 水道光熱費については、引き続き、館内事業所の協力も得て夏期使用電力の制御 (デマンド監視) を継続して行い、各部屋に温度・湿度計を設置して全館に節電を呼びかけたこと、館内の電球を 25%減らしたことにより、猛暑であったが、全館で昨年度より電気使用量を 16%減らすことができた。
管理を的確に行う人的構成 (組織体制等)	甲種防火管理講習、電気保安管理講習など施設管理に有用な研修を受講した。

※本来事業の他、指定管理者の提案事業(自主事業・独自事業)についても、上記の該当する欄に実施状況等を記載してください。

3 施設設置者(名張市)評価

指定管理協定に基づき、適正に管理運営業務を実施されています。
引き続き利用者の安全を最優先した対策に取り組むとともに、利用者のニーズに応じたサービスの提供に努めてください。